

平成 22 年度

## 地球温暖化対策計画・実施状況報告

## 1 地球温暖化対策事業者の概要

## (1) 事業者の類別

類別	特定種別には I、II、III、IV類を入力
I 類	I 類 1500 kL未満の事業所のみを複数有し、合算で1500 kL以上となる特定事業者
	II 類 1500 kL以上の事業所を1つ以上有する特定事業者
	III 類 3年連続して1500 kL以上の事業所を1つ以上有する特定事業者
	IV 類 (任意) 1500 kL未満の事業所のみを有し、合算して1500 kL未満となる事業者

## (2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	株式会社 ハイデイ日高
所在地	埼玉県さいたま市大宮区大門町3-105
事業者番号	※初回提出時に県で付与
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	5,112
店舗面積 (該当する場合)	
産業分類名 (中分類)	飲食店
分類番号 (中分類)	76
事業活動の概要  (事業内容、従業員数、資本金等)	中華料理店を、首都圏に約260店舗チェーン展開している。従業員数は、約600名。資本金は、1,625,363,422円。
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)	日高屋

## (3) 地球温暖化対策推進者（事業者で1人以上）

所属部署	電話番号
店舗開発部設計施工管理室	048-644-3231

## (4) 県内に設置している事業所

※書ききれない場合は別添としてください。

事業所番号 ※初回提出時に県で付与	事業所名	前年度のエネルギー 原油換算使用量(kL)
単独で1500kL以上の事業所		
1500 kL未満の事業所の合算		
		5112
合計		5,112

## (5) 公表方法

<input checked="" type="checkbox"/> インターネット利用による公表	アドレス	http://www.hiday.co.jp/	
<input checked="" type="checkbox"/> 埼玉県内の事業者又は事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	本社	
	所在地 1	さいたま市大宮区大門町3-105やすなビル2階	
	閲覧可能時間 1	平日のみ 9:00~18:00	
	閲覧場所 2		
	所在地 2		
	閲覧可能時間 2		
<input type="checkbox"/> その他			

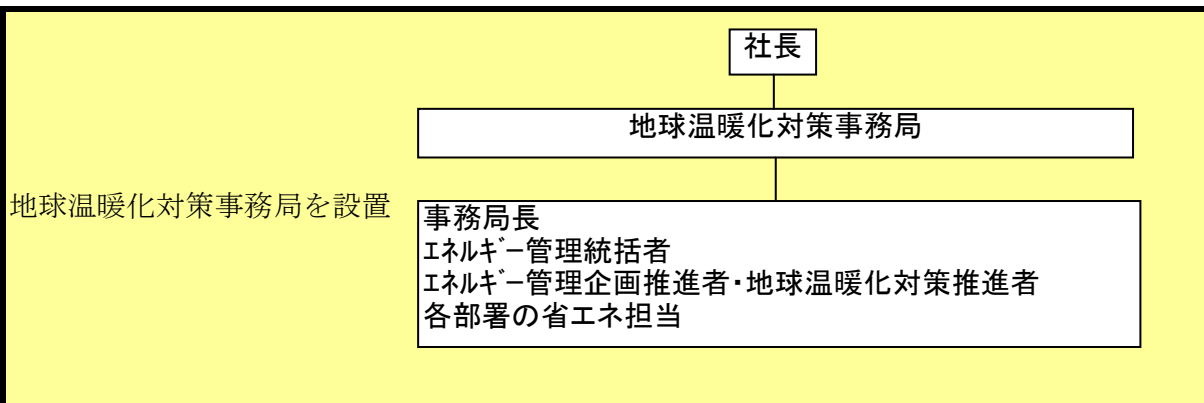
## (6) 公表の担当部署

名称 (複数可)	連絡先		
	電話番号	FAX番号	E-mailアドレス
1 店舗開発部設計施工管理室	048-644-3231	048-640-6114	<a href="mailto:oono@hiday.co.jp">oono@hiday.co.jp</a>
2			
3			

2 地球温暖化対策推進における基本方針 ※事業所ごとに定める場合は、事業所用に記載する旨を記載

地球環境の負荷を減らす店作りを推進し社会に貢献する

3 地球温暖化対策における推進体制 ※事業所ごとに定める場合は、事業所用に記載する旨を記載



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算（t-CO<sub>2</sub>）

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub>					
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>					
その他温室効果ガス					

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成 **22** 年度

事業所番号

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 年間原油換算使用量1,500kL未満の小規模事業所の合算
<b>A</b>	

(2) 事業所及び事業活動

事業所名	株式会社 ハイデイ日高 本社	ほか 85 事業所
所在地	さいたま市大宮区大門町3-105	ほか 85 か所
エネルギー原油換算 使用量(kℓ) (前年度)	5,112	
産業分類名 (中分類)	飲食店	
分類番号 (中分類)	76	
事業活動の概要  (事業内容、従業員数、 敷地面積、延べ床面積等)	中華料理店を、首都圏に約260店舗チェーン展開している。 従業員数は、約600名。資本金は、1,625,363,422円。	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)	日高屋	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 削減目標

計 画 期 間	<b>22</b> 年度 ~ <b>26</b> 年度	
削減 目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> ( 必 須 )	原単位あたり年1%の削減 5年間で5%削減
	非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	(該当する排出がある場合は必須)
	その他の温室効果ガス	(CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガスを年間3,000t-CO <sub>2</sub> 以上排出している場合は必須)
	温室効果ガス ( 上 記 合 計 )	原単位あたり年1%の削減 5年間で5%削減

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

			計 画 提 出 前	計 画 期 間					
			年 度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
CO <sub>2</sub>	エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	目標	/	8,633	8,546	8,459	8,371	8,284	
		実績	8,720						
	非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	目標	/						
		実績							
	CO <sub>2</sub> の 合 計	目標	/	8,633	8,546	8,459	8,371	8,284	
		実績	8,720						
そ の 他 の 温 室 効 果 ガ ス	メ タ ン	目標	/						
		実績							
	一 酸 化 二 窒 素	目標	/						
		実績							
	ハイドロフルオロカーボン	目標	/						
		実績							
	パーフルオロカーボン	目標	/						
実績									
六 フ ッ 化 硫 黄	目標	/							
	実績								
そ の 他 温 室 効 果 ガ ス 合 計	目標	/							
	実績								
温 室 効 果 ガ ス の 合 計	目標	/	8,633	8,546	8,459	8,371	8,284		
	実績	8,720							

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>/千h・千m<sup>2</sup>)

エネルギー起源CO <sub>2</sub>			計 画 提 出 前	計 画 期 間					
			年 度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排 出 量 原 単 位	単 位	目標	/	1.9697	1.9498	1.9299	1.9101	1.8901	
		実績	1.9896						
活 動 規 模 の 指 標	<input type="radio"/> 生産量	〇〇あたり							
	<input type="radio"/> 出荷額	〇〇あたり							
	<input type="radio"/> 従業員数	〇〇あたり							
	<input type="radio"/> 床面積	〇〇あたり							
	<input checked="" type="radio"/> (営業時間・床面積) (※自由記載)	千h・千m <sup>2</sup> あたり	4,383						

※〇〇には活動規模の指標となる単語を記入してください。例 m、t、百万円 など

※その他の原単位 (例：非エネルギー起源を含んだすべてのCO<sub>2</sub> など) を記載したい場合は、別紙4号に記載してください。

4 燃料等使用量及び温室効果ガス排出量

別紙1-1、1-2号 } ※1 基準年度以降及び計画書提出前年度は必修  
※2 ※1以外は分かる範囲で記載

5 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況

別紙2号

6 温室効果ガスの過年度における推移

別紙3号

7 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

別紙4号

No	対策の区分		対策名称	実施時期	備考	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	地球温暖化対策事務局	平成22年度	事務局を設置して、社員教育やエネルギー使用の合理化を進める。
2	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用量の管理	eモニターの設置	毎年	電気・ガスの使用量を常に把握し、見える化する。
3	130200	空調和設備・換気設備	13_空調和設備の効率管理	空調設備の定期清掃・換気設備のインバーター制御	平成23年度～28年度	空調の効率を良くする。無駄な換気を、ガス使用量に応じてインバーター制御して減らす。
4	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	看板・照明器具の点灯時間管理	平成23年度～28年度	日中の、看板点灯を減らす。
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

(株)ハイデイ日高の経営戦略で、年間出店計画30店舗を目標にしている為、排出量の総量は今後増え続けます。したがって削減目標として、営業時間と床面積当りのエネルギー使用量を削減する計画を作成します。排出量の原単位は、営業時間と床面積でエネルギー使用量を割って原単位とします。本社・工場などのエネルギー使用量は、店舗の営業活動を補佐する事業所なので各店舗にエネルギー使用量を均等に振り分けます。過去のCO2削減の為の実績は、全店のスプリングを温度制御することによってガスの消費量を減らしました。また、テスト店舗で厨房機器のガス使用量に応じて換気風量を制御して、送風機のランニングコストと空調負荷の削減をしました。今後、他店舗にも設置する予定です。